

2013年5月期  
**第2四半期決算説明会**

(証券コード：7713)

**シグマ光機株式会社**

2013年1月17日(木)

## 1. 2013年5月期第2四半期 決算概要

## 2. 2013年5月期 通期見通し

## 3. 2013年5月期 成長戦略

# 1. 2013年5月期第2四半期決算概要（連結）

**売上高・営業利益・経常利益とも期初業績予想値を下回る結果となった。研究開発分野の予算執行遅延、産業分野の投資抑制等が大きく影響した。**

（単位：百万円未満切捨）

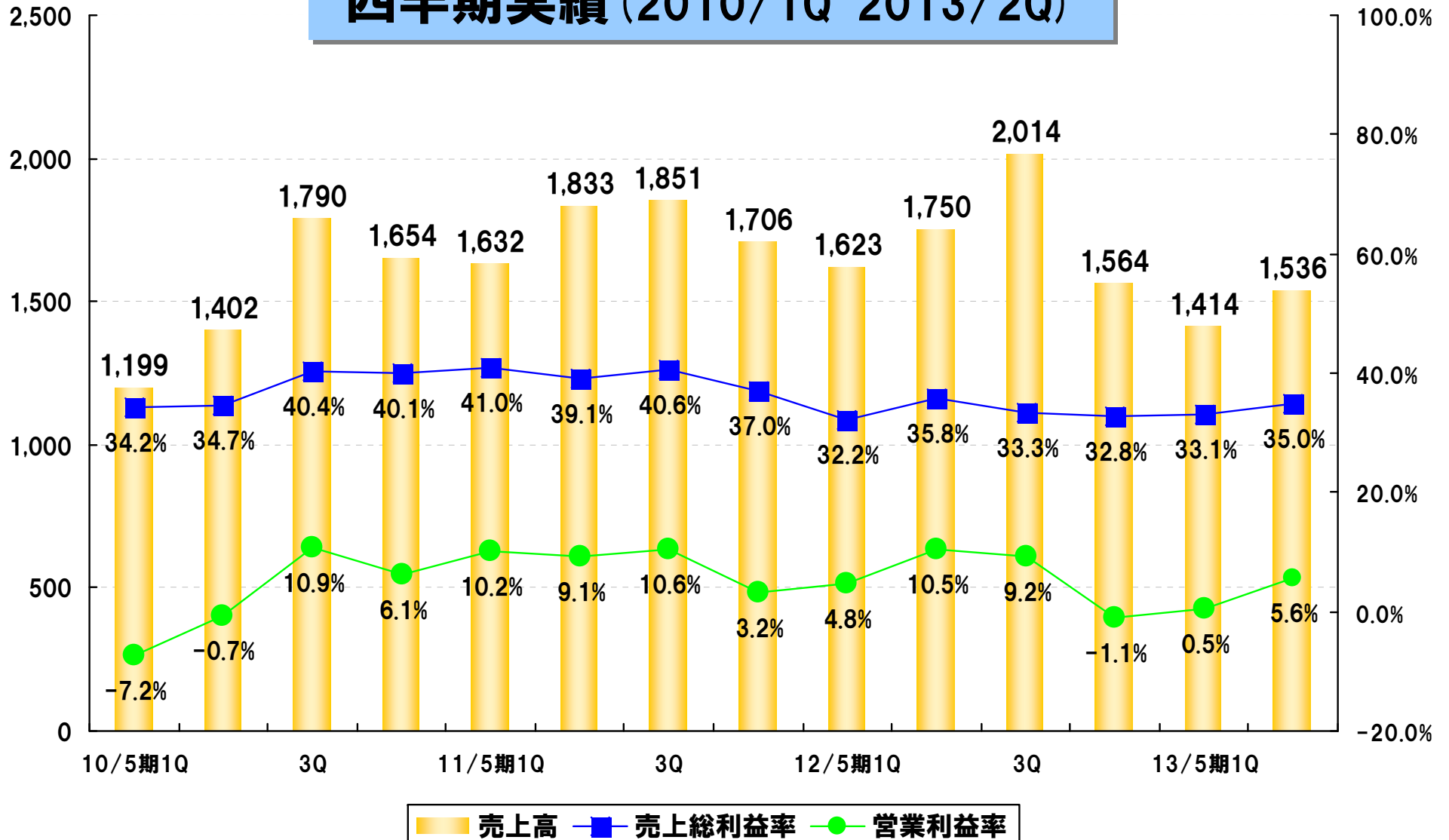
	2012/5期 2Q累計実績 (前年同期比)	2013/5期 2Q期初予想 (前年同期比)	2013/5期 2Q累計実績 (前年同期比)	構成比	期初予想比 (対予想比)	サマリー
<b>売上高</b>	3,373 (- 2.7%)	3,350 (- 0.7%)	2,951 (- 12.5%)	100.0 %	- 398 (- 11.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界市場の景気低迷により減収</li> <li>研究開発分野の需要は増加傾向も予算執行遅延により慎重な動き</li> <li>産業分野は全体として設備投資や研究開発投資が低調に推移</li> </ul>
<b>営業利益</b>	261 (- 21.5%)	135 (- 48.3%)	92 (- 64.7%)	3.1 %	- 42 (- 31.7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>減収による売上総利益の減少</li> <li>原価は圧縮も諸経費は微増</li> </ul>
<b>経常利益</b>	324 (- 18.2%)	165 (- 49.2%)	123 (- 61.8%)	4.2 %	-41 (- 24.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>減収による営業利益の減少</li> </ul>
<b>当期純利益</b>	176 (- 22.1%)	85 (- 52.0%)	88 (- 49.8%)	3.0 %	3 ( 4.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度に評価減を行っていた持分法会社の清算に基づく税負担軽減及び税効果の影響により増加</li> </ul>
<b>1株当り 当期純利益</b>	23円63銭	11円28銭	11円79銭	—	—	

（当期実績は、為替レート（期中平均）として1USドル=79.43円、1人民元=12.52円で計算しております。）

# 1. 四半期売上高・利益率推移（連結）

（単位:百万円未満切捨）

## 四半期実績 (2010/1Q~2013/2Q)



# 1. セグメント別 売上高・営業利益推移（連結）

## 売上高

(単位:百万円未満切捨)

製品区分	11/5期 2Q累計	12/5期 2Q累計	13/5期 2Q累計	構成比率	売上高 増減率
<b>要素部品事業</b>	<b>3,097</b>	<b>2,952</b>	<b>2,628</b>	<b>89.1 %</b>	<b>- 11.0 %</b>
光学基本機器製品	1,059	1,072	983	33.3 %	- 8.3 %
自動応用製品	574	551	500	17.0 %	- 9.3 %
光学素子・薄膜製品	1,464	1,327	1,144	38.8 %	- 13.8 %
<b>システム製品事業</b>	<b>368</b>	<b>421</b>	<b>322</b>	<b>10.9%</b>	<b>- 23.4 %</b>
光学システム製品	368	421	322	10.9 %	- 23.4 %
<b>合計</b>	<b>3,465</b>	<b>3,373</b>	<b>2,951</b>	<b>100 %</b>	<b>-12.5 %</b>

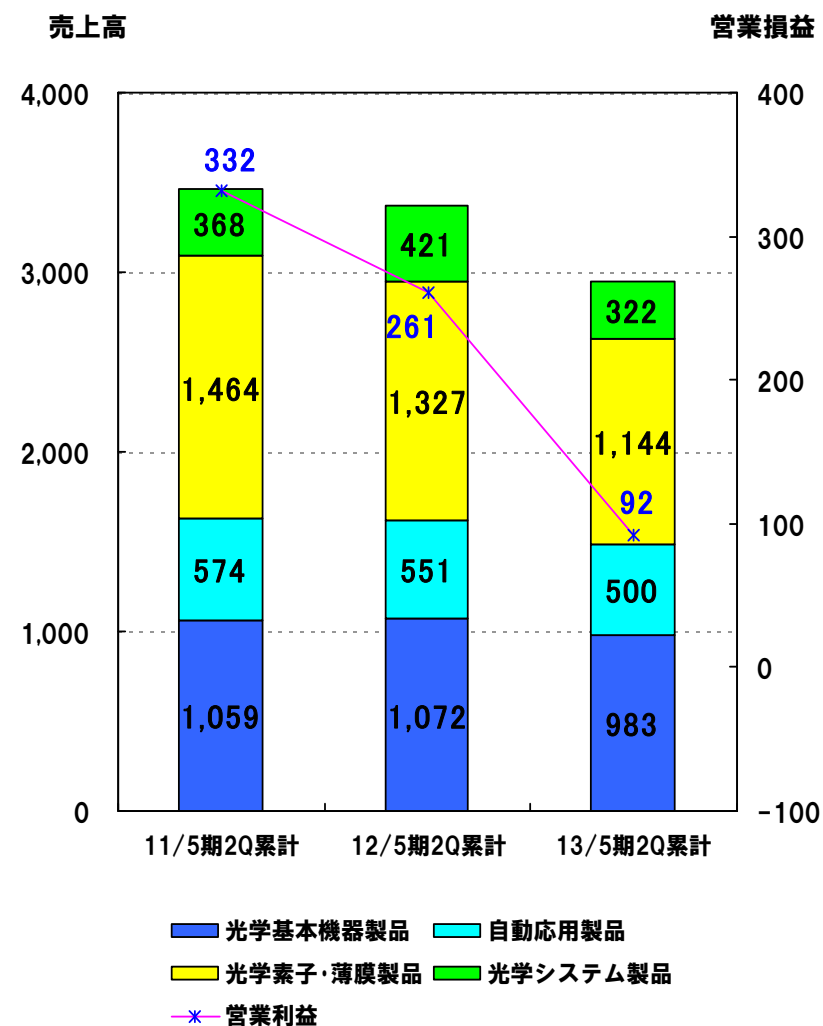
## 営業損益

(単位:百万円未満切捨)

製品区分	11/5期 2Q累計	12/5期 2Q累計	13/5期 2Q累計	利益額 増減率
<b>要素部品事業</b>	<b>619</b>	<b>533</b>	<b>442</b>	<b>- 17.0 %</b>
<b>システム製品事業</b>	<b>- 98</b>	<b>- 63</b>	<b>- 134</b>	<b>-</b>
<b>消去</b>	<b>- 188</b>	<b>- 209</b>	<b>- 216</b>	<b>-</b>
<b>合計</b>	<b>332</b>	<b>261</b>	<b>92</b>	<b>- 64.7 %</b>

(単位:百万円未満切捨)

(単位:百万円未満切捨)



# 1. 海外販売先別売上高構成比推移（連結）

## アジア市場産業分野の取り込みに注力も、前年同期比で8.4%減少。

携帯端末関連に牽引された一部の半導体業界、FPD業界では堅調。米国地域についてはバイオ・メディカル・美容レーザー業界が堅調な動き。但し、アジア・オセアニア地域の生産調整で全体としては低調に推移。

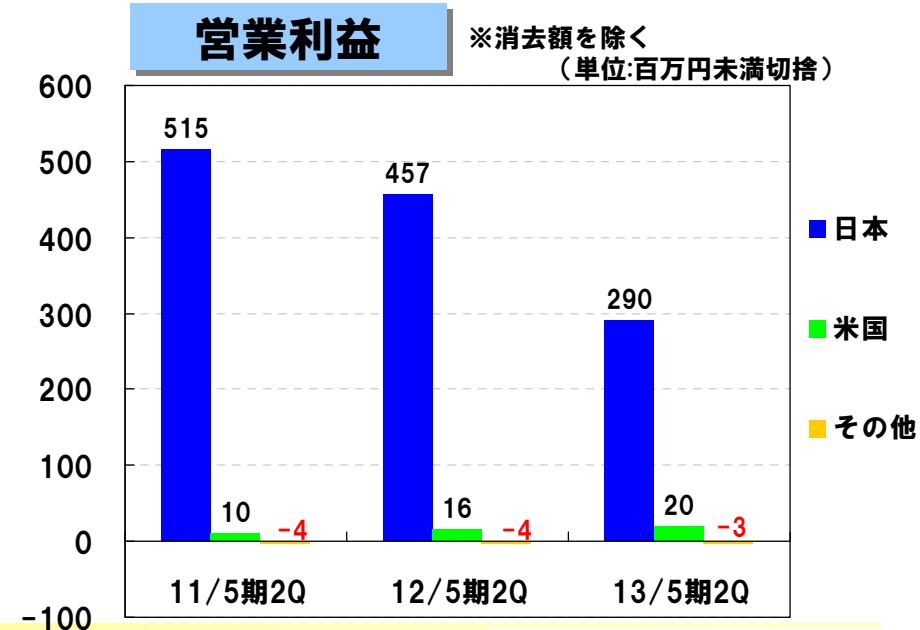
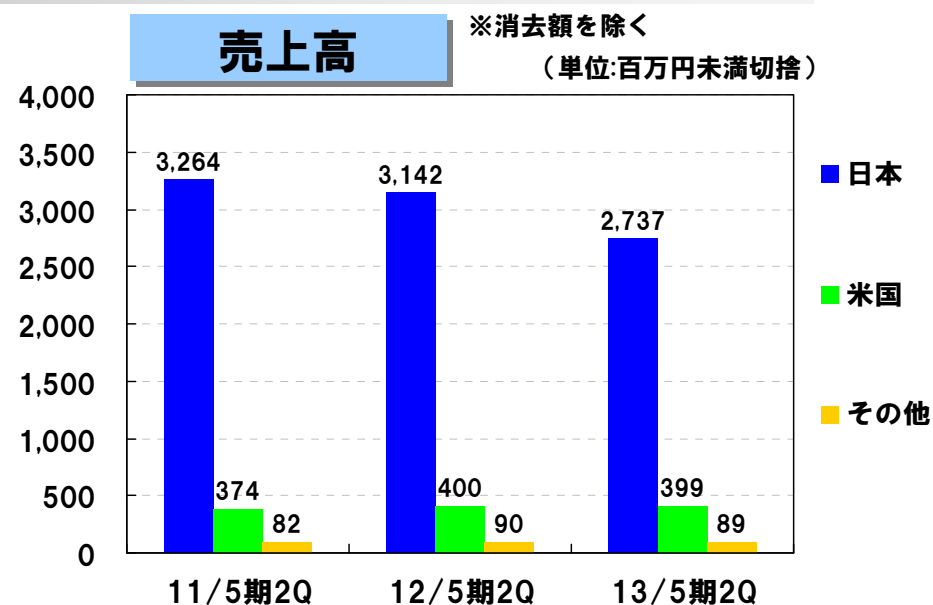
（単位：百万円未満切捨）

	2012/5期 2Q累計	構成比	2013/5期 2Q累計	構成比	売上高 増減率	サマリー
売上高	3,373	100.0%	2,951	100.0%	- 12.5 %	
海外売上高	808	24.0 %	740	25.1 %	- 8.4 %	・前年同期比で8.4%減少
北米	316	9.4 %	305	10.3 %	- 3.4 %	・バイオ・メディカル・美容レーザー業界は堅調に推移も、為替調整により減少（US\$ベースでは前年同期比で微増）
アジア・オセアニア	432	12.8 %	369	12.5 %	- 17.0 %	・中国、アジア圏の経済成長鈍化によりアジア産業市場向けが低調に推移
ヨーロッパ	51	1.5 %	48	1.7 %	- 5.7 %	・米国子会社OptoSigma経由での展開
その他	8	0.3 %	16	0.6 %	106.0 %	

# 1. グループ所在地別売上高・営業利益推移（連結）

（単位:百万円未満切捨）

		日本	米国	その他	消去 又は 全社	計
2011/5 2Q累計	売上高	3,264	374	82	- 255	3,465
	営業利益	515	10	- 4	- 188	332
2012/5 2Q累計	売上高	3,142	400	90	- 259	3,373
	営業利益	457	16	- 4	- 208	261
2013/5 2Q累計	売上高	2,737	399	89	- 274	2,951
	営業利益	290	20	- 3	- 215	92



# 1. 売上原価の状況（連結）

**売上高の減少に伴う材料費の減少等で前年同期比で12.6%減少。**

材料費の減少、効率化による労務費の減少、減価償却費の減少に加えて内製化による外注加工費の圧縮等を推進するも、減収額のカバーには至らず。

（単位:百万円未満切捨）

	2012/5期 2Q累計	構成比	2013/5期 2Q累計	構成比	増減率	サマリー
売上高	3,373	100.0%	2,951	100.0%	- 12.5 %	
材料費等	1,136	33.7 %	988	33.5 %	- 13.0 %	・売上減少に伴ない材料仕入が減少（特に外部調達が減少）
労務費	741	22.0 %	665	22.6 %	- 10.2 %	・生産設備更新による効率向上と売上減少により残業時間が減少
減価償却費	155	4.6 %	124	4.2 %	- 20.1 %	・生産設備の減価償却費が減少
その他	190	5.6 %	165	5.6 %	- 13.0 %	・内製化で外注加工費は減少
売上原価	2,223	65.9 %	1,944	65.9 %	- 12.6 %	
売上総利益	1,149	34.1 %	1,006	34.1 %	- 12.4 %	・期初予算比では15.6%減少



# 1. 販売管理費の状況 (連結)

**全社的な経費節減対応を推進するも、前年同期比で2.9%増加。**

生産部門と連携した営業活動の強化による販売促進費の増加や生産技術向上や新製品開発のための試験研究費の増加が主要因。

(単位:百万円未満切捨)

	2012/5期 2Q累計	構成比	2013/5期 2Q累計	構成比	増減率	サマリー
<b>売上高</b>	<b>3,373</b>	100.0 %	<b>2,951</b>	100.0 %	-12.5 %	
<b>販売促進費</b>	<b>83</b>	2.5 %	<b>104</b>	3.5 %	25.5 %	・生産部門と連携したユーザ訪問等の営業活動の強化
<b>広告宣伝費</b>	<b>23</b>	0.7 %	<b>23</b>	0.8 %	3.0 %	・カタログ10配布による経費計上 ・製品ウェブページの刷新
<b>人件費</b>	<b>410</b>	12.1 %	<b>389</b>	13.2 %	- 5.0 %	・残業時間の減少
<b>減価償却費</b>	<b>26</b>	0.8 %	<b>27</b>	0.9 %	2.5 %	
<b>試験研究費</b>	<b>121</b>	3.6 %	<b>150</b>	5.1 %	23.9 %	・積極的な研究開発案件の取組み
<b>その他</b>	<b>223</b>	6.6 %	<b>218</b>	7.5 %	- 2.3 %	・消耗品購入の削減
<b>販売管理費</b>	<b>888</b>	26.3 %	<b>914</b>	31.0 %	2.9 %	・期初予算比では13.4%圧縮

# 1. バランスシート概要 (連結)

(単位:百万円未満切捨)

	2012/5期 2Q	2012/5期 通期	2013/5期 2Q	増減 (対前期末比)	サマリー
現金・預金	2,114	2,471	2,030	- 17.8 %	
受取手形・売掛金	1,936	1,874	1,661	- 11.4 %	
棚卸資産	1,888	1,819	1,852	1.8 %	
その他流動資産	542	448	751	67.3 %	有価証券(金銭信託)の増加
有形・無形固定資産	3,368	3,311	3,392	2.4 %	
投資等	3,132	3,065	3,055	- 0.3 %	
<b>資産合計</b>	<b>12,983</b>	<b>12,991</b>	<b>12,744</b>	<b>- 1.9 %</b>	
支払手形・買掛金	769	801	640	- 20.1 %	
短期借入金	156	129	186	44.2 %	長期借入の1年内返済予定額が増加
その他流動負債	474	506	427	- 15.6 %	法人税支払により未払額が減少
長期借入金	178	119	122	2.5 %	
その他固定負債	612	598	635	6.2 %	
<b>純資産合計</b>	<b>10,793</b>	<b>10,837</b>	<b>10,733</b>	<b>- 1.0 %</b>	配当金支払、為替換算調整
<b>負債・純資産合計</b>	<b>12,983</b>	<b>12,991</b>	<b>12,744</b>	<b>- 1.9 %</b>	

# 1. キャッシュフロー概要 (連結)

(単位:百万円未満切捨)

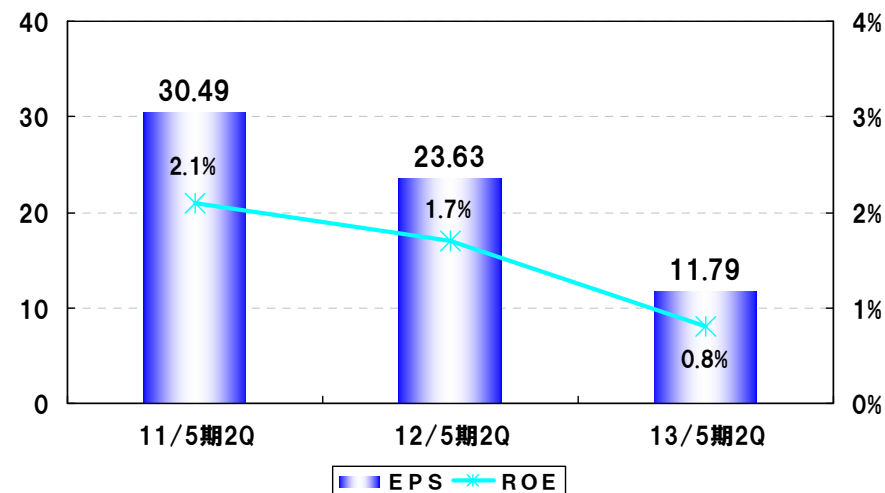
	2011/5期 2Q	2012/5期 2Q	2013/5期 2Q	サマリー
営業活動	268	102	98	売上債権の減少(回収)による増加。 法人税の支払、仕入れ債務の減少(支払)及び 棚卸資産の増加による減少。
投資活動	- 231	- 362	- 461	有価証券の純増加による減少。 有形無形固定資産の取得による減少。
フリーキャッシュフロー	37	- 260	- 362	
財務活動	- 70	66	- 67	前年同期は自己株式処分によるプラス実績。 当期は長期借入金の借入額減少による減少。
現金及び 現金同等物の期末残高	1,934	1,658	1,702	

# 1. 収益性分析の概要

## 連結EPS・ROE

	2011/5期 2Q	2012/5期 2Q	2013/5期 2Q
当期純利益（百万円）	227	176	88
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	30.49	23.63	11.79
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	2.1	1.7	0.8

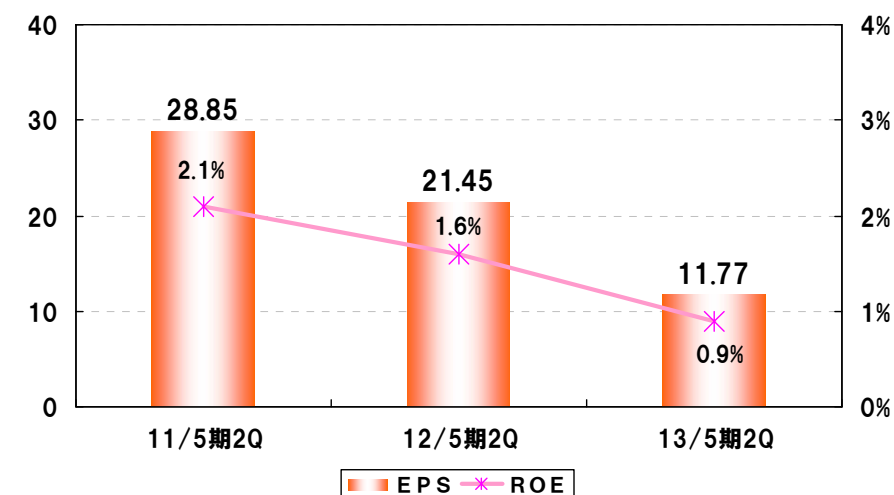
（単位：円）



## 単体EPS・ROE

	2011/5期 2Q	2012/5期 2Q	2013/5期 2Q
当期純利益（百万円）	214	160	88
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	28.85	21.45	11.77
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	2.1	1.6	0.9

（単位：円）



1. 2013年5月期第2四半期 決算概要

**2. 2013年5月期 通期見通し**

3. 2013年5月期 成長戦略

## 2. 2013年5月期通期計画（連結）

### 売上・利益とも下期伸長を予想も、通期の期初予想値は下回る見込み。

官公庁・民間の研究開発分野や産業分野の期末需要での売上の増加を見込む。しかし、依然として為替や景気動向は不透明であり慎重な通期計画を策定。生産技術向上や新製品開発のための設備投資と研究開発は期初計画を維持。

（単位：百万円未満切捨）

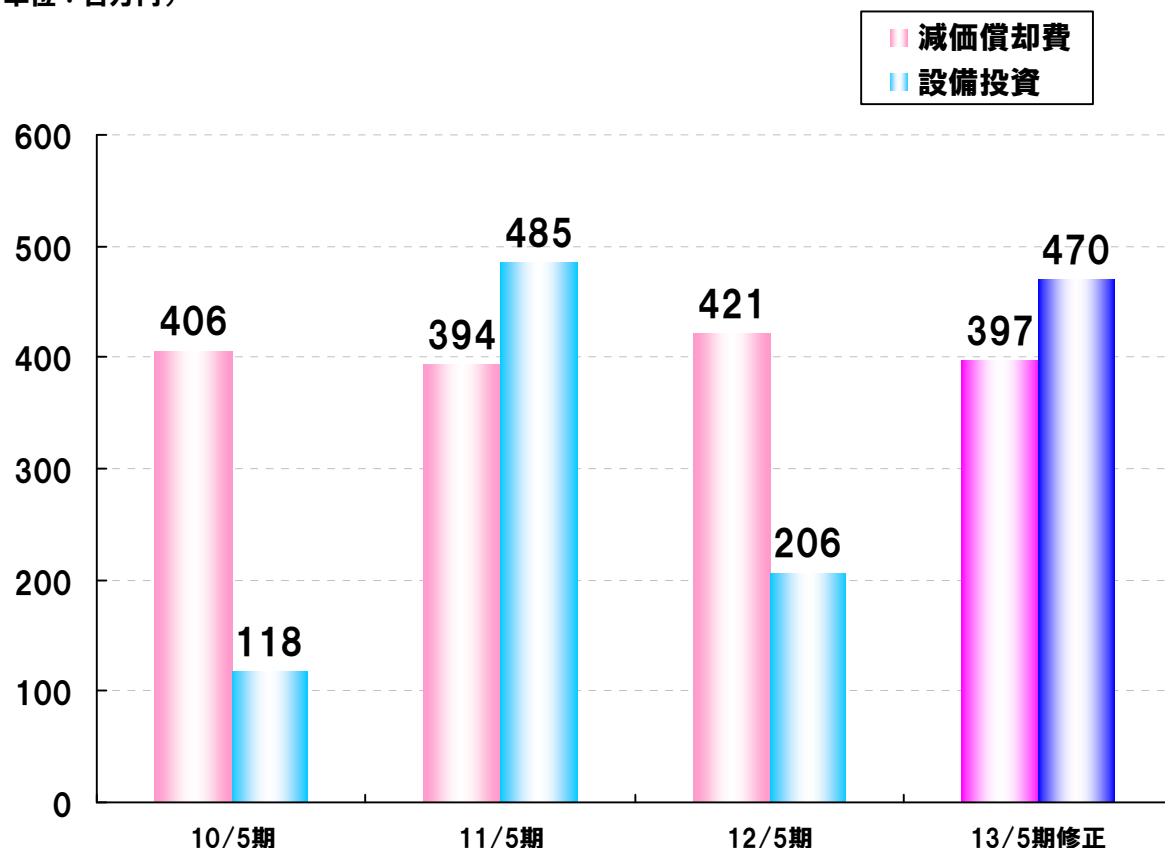
	2012/5期 実績	2013/5期			前年同期比	業績予想値比	
		上期実績	下期予算	通期予算 修正予想	差異 (増減率)	期初予想 (2012.7.9)	差異 (増減率)
売上高	6,952	2,951	3,638	6,590	- 362 (-5.2%)	7,220	- 630 (-8.7%)
営業利益	428	92	287	380	- 48 (-11.3%)	540	- 160 (-29.6%)
営業利益率	6.2 %	3.1 %	7.9 %	5.8 %	—	7.5 %	—
経常利益	563	123	346	470	- 93 (-16.6%)	605	- 135 (-22.3%)
当期純利益	273	88	151	240	- 33 (-12.4%)	310	- 70 (-22.6%)
1株当り純利益(円)	36円47銭	11円79銭	—	31円86銭	—	41円15銭	—

（当期予想は、為替レートとして1USドル=80.00円、1人民元=12.5円を前提としております。）

## 2. 設備投資・減価償却費見込み（連結）

### 設備投資・減価償却費

（単位：百万円）



### 補足説明

#### ◎主要設備投資

##### ○10/5期

- ・真空蒸着装置更新 0.3億円
- ・情報システム投資 0.2億円

##### ○11/5期

- ・光学素子高度化投資 1.0億円
- ・オプトシグマ新社屋  
移転改修工事 1.9億円

##### ○12/5期

- ・情報システム投資 0.7億円
- ・拠点建屋改修工事費 0.4億円
- ・光学素子設備増強投資 0.3億円

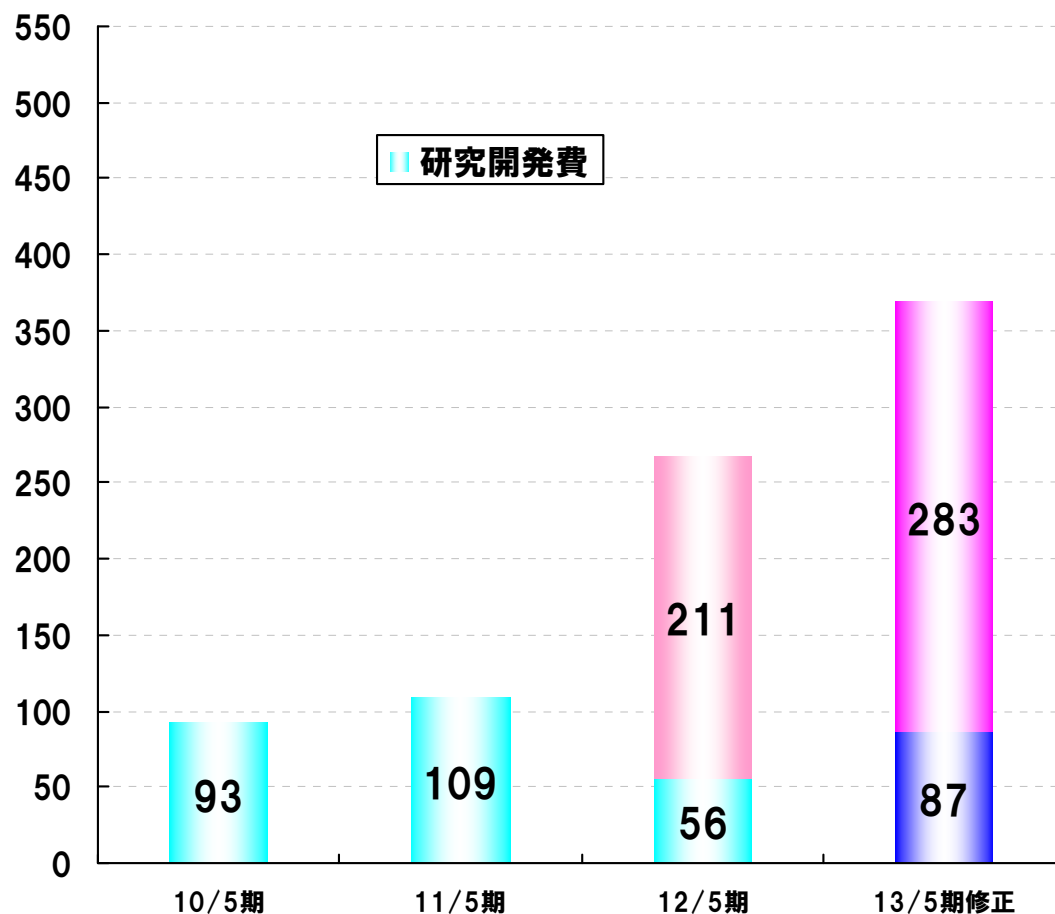
##### ○13/5期修正

- ・情報システム投資 1.2億円
- ・基本機器設備増強投資 1.3億円
- ・光学素子設備増強投資 0.9億円

## 2. 研究開発費見込み（連結）

### 研究開発費

（単位：百万円未満切捨）



（注）11/5期までの研究開発費には、人件費を含んでおりません。

### 補足説明

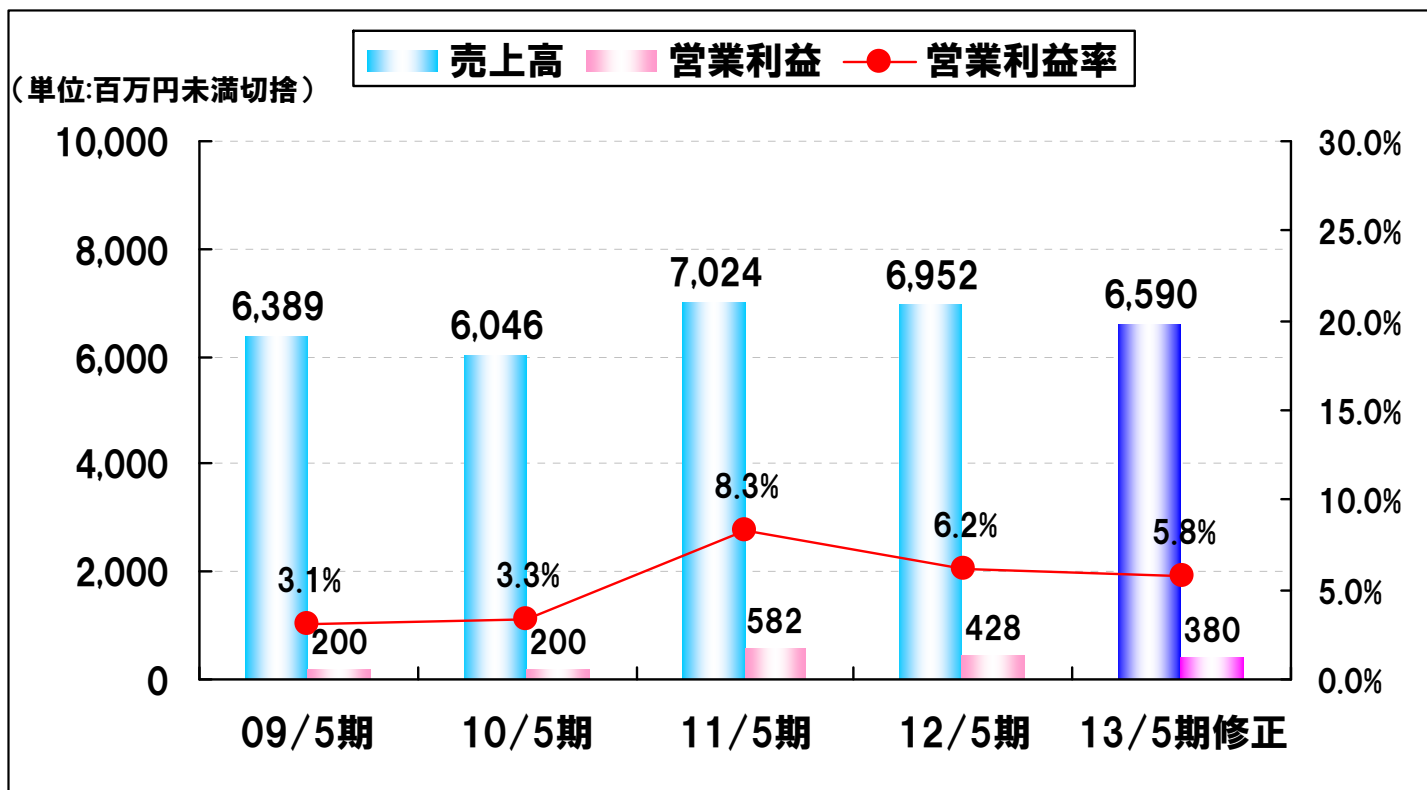
（単位：百万円未満切捨）

	自社	産学官連携
10/5期	57	36
11/5期	77	32
12/5期	47	9
13/5期修正	87	-
12/5期	人件費等 211	人件費込 売上高比率 3.9%
13/5期修正	283	5.6%

※12/5期より、生産部門の人件費のうち研究開発に充当した工数を研究開発費に付け替えております。



## 2. 売上高・営業利益・営業利益率予想（連結）



### サマリー

#### ◎営業利益の減少要因

##### ①売上高の減少

- 研究開発分野の予算抑制
- 産業案件 (OEM等) の減少

##### ②売上総利益の減少

- 売上原価を圧縮するも  
売上高減少により減少

##### ③販売管理費の増加

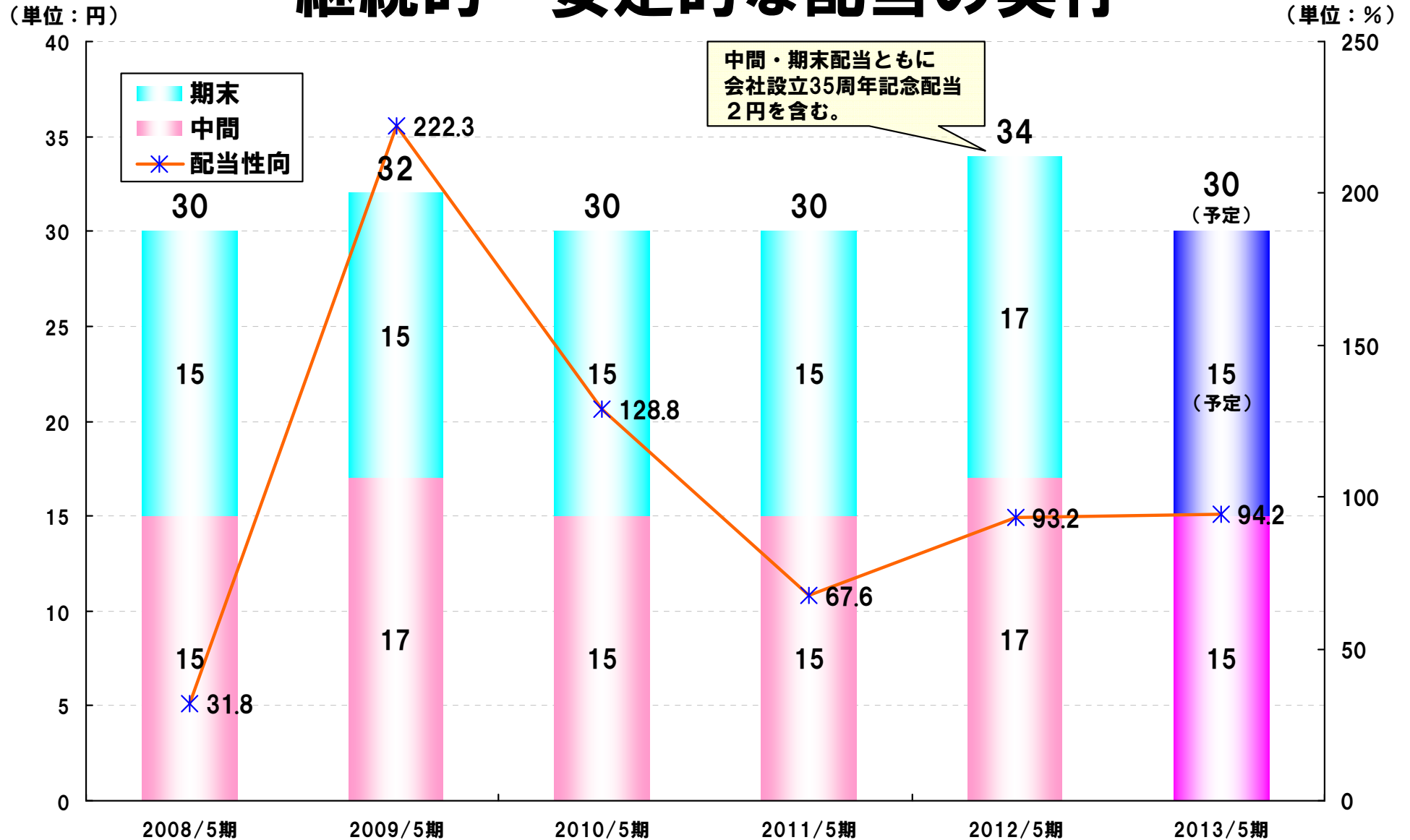
- 販売促進費の増加
- 試験研究費の増加
- 人件費の減少

### \*引き続き、強固な財務体質を堅持

- |         |                 |   |                    |
|---------|-----------------|---|--------------------|
| ①自己資本比率 | FY09: 86.1%     | → | FY13/2Q: 84.0%     |
| ②利益剰余金  | FY09: 5,427百万円  | → | FY13/2Q: 5,479百万円  |
| ③純有利子負債 | FY09: ▲1,092百万円 | → | FY13/2Q: ▲1,722百万円 |

## 2. 配当金推移

### 継続的・安定的な配当の実行



1. 2013年5月期第2四半期 決算概要

2. 2013年5月期 通期見通し

**3. 2013年5月期 成長戦略**

## 3. 成長戦略

1) 光ソリューション・カンパニー

2) グレイト・リセット

3) 事業別戦略

4) グローバル展開

『シグマ光機は  
光ソリューション・カンパニー  
を目指す』

**問題解決の提案**  
と  
**製品の提供**

## ☆ブランド・ステートメント

コーポレート・ブランドの明文化

# Light Solutions for Life™

### ■グループの事業姿勢

当社は、光研究・開発分野から産業分野向けの部品・ユニット・システムまでをワンストップで提供する「光ソリューション・カンパニー」として「新たな価値」を創出し、人々の快適な「暮らし」を支える光技術の発展と光産業の拡大に貢献します。

■シグマ光機グループ 事業姿勢の宣言

Light Solutions for Life™

国内ブランド を確立

⇒ 世界ブランド へ

# グレイト・リセット (大再構築)

## 原点回帰へ選択と集中



〈原点回帰〉

## 要素部品

(光学素子・薄膜製品、光学基本機器製品、自動応用製品)

と

## レンズユニット

(技術的優位性、高付加価値、手放れの良さ)

# 3-2) グレイト・リセット

光学素子・薄膜製品



光学基本機器製品



自動応用製品



光学システム製品

レンズユニット



アプリケーションシステム



★重点要素技術

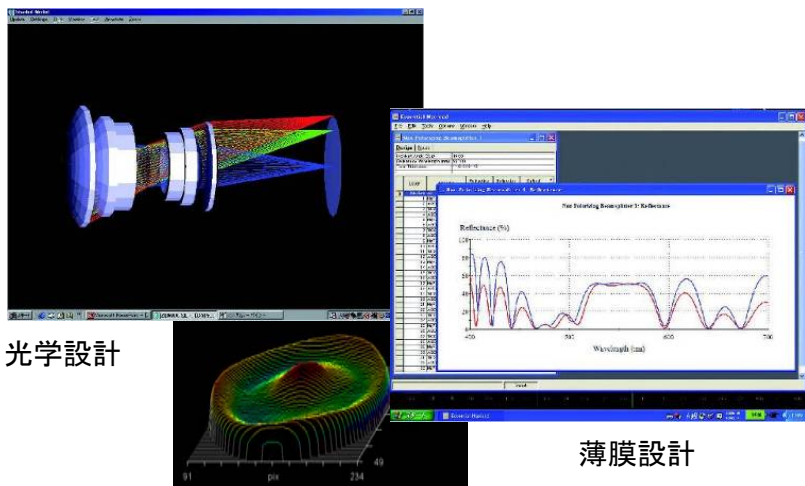
# 光学技術

(設計・製造・評価)

と

# 位置決め制御技術

(モーション・コントロール)



光学設計

薄膜設計



加工機械



研磨機械



レーザ測長機



基板面精度  
測定システム

**光学設計技術**

**製造技術**

**検査・測定技術**

**位置決め制御技術  
(モーション・コントロール)**



テープファイバの  
ピッチ変換部品組立装置

コンタミネーション  
検査装置



## ☆要素部品事業

- ・コストダウン競争

社内改革とサプライチェーン

- ・2極化製品

R & Dプレミアムゾーン

⇒ 高精度、高価格

産業用ボリュームゾーン

⇒ 好精度、好価格

## ☆システム製品事業

＊脱 特注一品 ⇒ 脱 低収益

- ・ 大きな産業用市場
- ・ 高精度レンズユニット
- ・ 光学システム用ユニット
- ・ リピート品

## • 世界3極営業体制へ

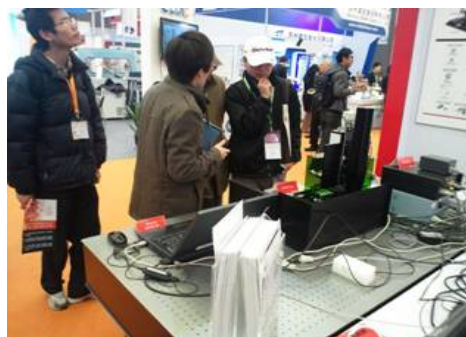
- **アジア** ⇒ **代理店網**
- **北米・南米** ⇒ **オプトシグマ**
- **EU** ⇒ **シグマ光機・  
オプトシグマ**

## 世界3大マーケット(米国・アジア・EU)での ブランド認知度向上とグローバルビジネス強化

Photonics West 2013  
アメリカ・サンフランシスコ  
(2013年2月5日~7日)



LASER World of  
PHOTONICS China 2013  
中国・上海  
(2013年3月19日~21日)



LASER World of PHOTONICS  
2013  
ドイツ・ミュンヘン  
(2013年5月13日~16日)

出展予定

※画像はいずれも2012年出展時のものです。



**本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。**

**よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証はいたしかねますのでご留意ください。**